

第2-1-1表 東日本大震災発生直後の主な動き

月	日	時間	経緯	
3月	11日	14:46	三陸沖でマグニチュード (M) 9.0の地震発生 各県、各市町村に災害対策本部設置	
		14:46	運転中の東京電力福島第一原子力発電所の1～3号機が地震により自動停止	
		14:49	気象庁が北海道から青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県太平洋沿岸等に大津波警報	
		14:50	官邸対策室設置、緊急参集チーム召集	
		15:51	相馬検潮所で最大波9.3m以上の津波を観測	
		19:03	東京電力福島第一原子力発電所について原子力緊急事態宣言を発令	
		21:23	福島県の東京電力福島第一原子力発電所の半径3km圏内の住民に避難指示。3～10km圏も屋内退避	
	12日	3:59	長野県北部でマグニチュード (M) 6.7 (暫定値) (震度6強)の地震発生	
		5:44	避難指示を東京電力福島第一原子力発電所の半径3kmから10km圏内に拡大	
		15:36	東京電力福島第一原子力発電所1号機で水素爆発発生	
		17:39	東京電力福島第二原子力発電所の半径10km圏内の住民に避難指示	
	13日	17:58	津波注意報解除	
		11:01	東京電力福島第一原子力発電所3号機の原子炉建屋付近で水素爆発発生 東京電力が初の計画停電を実施	
	15日	6:10	東京電力福島第一原子力発電所2号機の圧力抑制室付近で異音発生	
		6:14	東京電力福島第一原子力発電所4号機で音がして壁の一部破損を確認	
		11:00	東京電力福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内の住民に屋内退避を指示	
		22:31	静岡県東部でマグニチュード (M) 6.4 (暫定値)の強い地震があり、震度6強を観測 東京電力福島第一原子力発電所4号機で火災発生	
	17日	9:48	自衛隊が東京電力福島第一原子力発電所3号機に散水開始	
	18日	17:48	原子力安全・保安院が東京電力福島第一原子力発電所について、INES (国際原子力・放射線事象評価尺度)で「レベル5」と発表	
	20日		福島県飯館村の水道水から放射性物質を検出	
	21日		国が定めた暫定規制値を超える放射性物質が検出された福島県産のホウレンソウなどの出荷制限を指示	
	23日		東京都葛飾区の金町浄水場で乳児の摂取制限を超える放射性ヨウ素を検出	
	24日		東京電力福島第一原子力発電所3号機のタービン建屋で作業していた東京電力関係者3名の被ばくを確認	
			東京電力福島第一原子力発電所の共用プールに外部電源供給。本設系統による冷却開始 東北道の一般車両の通行が可能に	
	25日		東京電力福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内にも自主避難を要請	
	28日		東京電力福島第一原子力発電所の敷地内からプルトニウムを検出	
	4月	7日	23:32	宮城県沖を震源とする地震発生 マグニチュード (M) 7.1 (暫定値)
		8日		東京電力、東北電力管内の計画停電の原則終了を宣言
11日			枝野官房長官が東京電力福島第一原子力発電所から20キロ圏外の一部地域を新たに「計画的避難区域」に指定し、1か月程度かけて住民の域外避難指示を発表	
		17:16	福島県浜通りを震源とする地震 マグニチュード (M) 7.0 (暫定値)	
12日		14:07	福島県浜通りを震源とする地震 マグニチュード (M) 6.4 (暫定値)	
13日			仙台空港、民間機就航再開	
21日			在来線のJR東北線が仙台一ノ関間、岩切一利府間で運転再開し、全線が復旧	
29日		東北新幹線、一ノ関-仙台間が復旧し、東北新幹線全線復旧		

- (備考)
1. 上記一覧表は東日本大震災復興本部・各府省公表資料、新聞情報等により作成。
 2. 詳細な経緯については、付表2-1を参照。
 3. 上記に記載している人物の役職等については当時のものによる。

第 2 - 1 - 2 表 東日本大震災による主な被害状況

	全国	東北					
		被災地 3 県			岩手県	宮城県	福島県
人的被害（人）							
死者	15,828	15,767	15,762	4,664	9,494	1,604	
行方不明者	3,754	3,751	3,750	1,488	2,026	236	
負傷者	5,942	4,542	4,437	188	4,008	241	
建築物被害（戸）							
全壊	118,806	114,853	114,509	20,182	76,078	18,249	
半壊	184,330	152,259	151,328	4,539	92,278	54,511	
流失							
全焼	81	77	77			77	
半焼	199	153	153	15	135	3	
床上浸水	10,961	8,884	8,884	1,761	7,061	62	
床下浸水	13,867	11,856	11,856	323	11,194	339	
一部破損	606,854	331,296	331,177	7,208	175,281	148,688	
非住家	47,975	34,032	32,827	4,148	27,627	1,052	

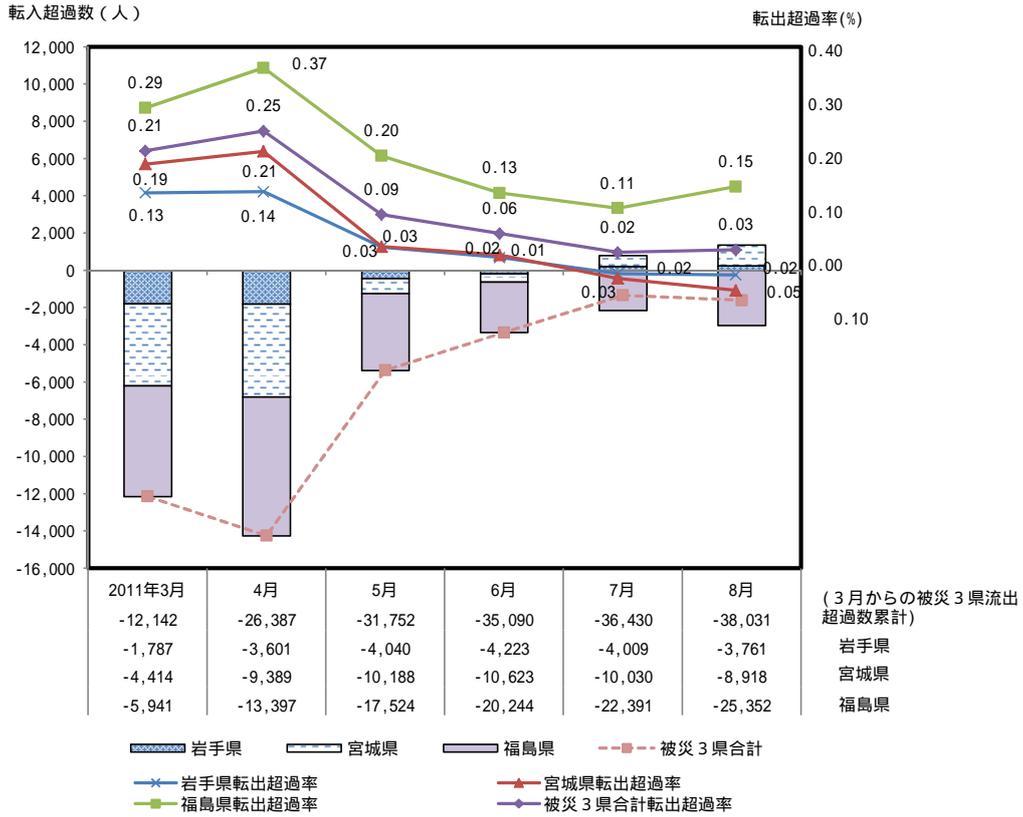
（備考） 1．警察庁10月24日公表資料による。
 2．東北地域の地域区分はA。

第2 - 1 - 3表 戦後の主な自然災害

年月日	災害名	主な被災地	死者・行方不明者数
昭和20. 9. 17 ~ 18	枕崎台風	西日本（特に広島）	3,756人
21. 12. 21	南海地震（M8.0）	中部以西の日本各地	1,443人
22. 9. 14 ~ 15	カスリーン台風	東海以北	1,930人
23. 6. 28	福井地震（M7.1）	福井平野とその周辺	3,769人
28. 6. 25 ~ 29	大雨（前線）	九州、四国、中国（特に北九州）	1,013人
7. 16 ~ 24	南紀豪雨	東北以西（特に和歌山）	1,124人
29. 9. 25 ~ 27	洞爺丸台風	全国（特に北海道、四国）	1,761人
33. 9. 26 ~ 28	狩野川台風	近畿以東（特に静岡）	1,269人
34. 9. 26 ~ 27	伊勢湾台風	全国（九州を除く、特に愛知）	5,098人
35. 5. 23	チリ地震津波	北海道南岸、三陸海岸、志摩海岸	142人
平成7. 1. 17	阪神・淡路大震災（M7.3）	兵庫県	6,437人

- （備考） 1. 内閣府「防災白書」（2010年）より作成。
 2. チリ地震津波を除き、死者・行方不明者数が1,000人を超えたものについて掲載。
 3. 関東大震災（M7.9：大正12年9月1日）の死者・行方不明者数は約105,000人。

第2-1-4図 東日本大震災の影響による被災3県の人口移動



- (備考)
1. 総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成。
 2. 県内人口については、総務省「平成22年国勢調査人口等基本集計」より作成(2010年10月1日の数値)。
 3. 転入者数は、転入する市町村の長に対し、住民票移動の届出をした者を集計している。
 4. 棒グラフ(左軸)は転入超過数、折れ線グラフ(右軸)は転出超過率(対県内人口比率)。